

船場 vol.2

発行日：2009年3月31日

発行者：船場地区HOPEゾーン協議会

編集長：藤原久恵(協議会理事)

船場地区HOPEゾーン事業

まちなみガイドライン 「船場のまちなみ作法」(案)について

まちなみガイドライン「船場のまちなみ作法」(案)とは

船場のまちに関わる人・企業・団体が一緒になって、船場の「まちなみづくり」に取り組むための窓口となる組織「船場地区HOPEゾーン協議会」では、昨年8月の設立以来、船場らしいまちなみづくりをめざし、ワークショップやイベント、専門部会活動などに取り組んできました。

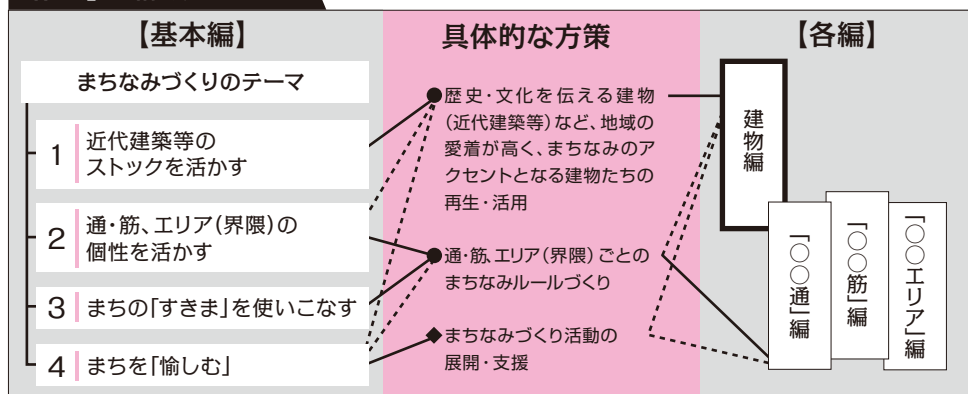
そうした活動の中で、船場のまちに関わる多くの方々からいただいた貴重なご意見・ご提案をもとに、船場地区HOPEゾーン事業まちなみガイドライン『船場のまちなみ作法』(案)をとりまとめました。

このガイドラインは、船場のまちなみづくりのゆるやかな指針となるもので、みんなで共有していきたい思いを提案するものです。

『作法』の構成

『作法』は、船場のまち全体を捉えた【基本編】とその実現に向けた具体的な方策につながる【各編】とで構成されます。【各編】のうち、通や筋・エリア(界隈)ごとのまちなみづくりに関するものについては、今後、それぞれの地域での取り組みに合わせ、順次作成していく予定です。

『作法』の構成(イメージ)



意見募集のお知らせ

今回のニュースでは、『作法』【基本編】と【建物編】の(案)(骨子)をご紹介します。
【基本編】は、船場のまちなみづくり全体のテーマと基本的な方針を、【建物編】は、船場のまち全体に点在する貴重な地域資源である建物たちの再生・活用の考え方を提案するものです。
協議会では、これらの『作法』(案)について、みなさんのご意見を募集しています。下記期間内に担当までEメールまたはファックスにてご送付ください。(ご意見には、お名前・ご住所をご記入ください。)

募集期間 平成21年4月1日(水)～4月14日(火)

送付先 船場『作法』意見募集担当：(株)ダン計画研究所 新田 まで

E-mail semba-sugi@dan-dan.com / FAX 06-6946-9120

ご提出いただいた個人情報の取扱いには十分注意し、今回の協議会活動以外の目的で使用することはありません。
※『作法』(案)全文をご希望の場合は、お手数ですが、上記の意見募集担当(新田)、もしくは、お近くの協議会役員までお問合せください。

協議会活動報告

協議会イベント

『船場・道修町まちなみ“今”“昔”展

平成20年11月22日(土)・23日(日)
辰野ひらのまちギャラリーにて開催

くすりの道修町、神農さんのお祭りと同じ日に、船場にお住まいの商家の方々をはじめ、多くのみなさんに資料提供等いただき、船場・道修町界隈の「今」と「昔」を愉しむ展示会を開催しました。協議会としては、はじめてのイベントでしたが、400名近くの方がお立ち寄りくださり、「懐かしさ」や「新鮮な驚き」を感じながら、ゆっくりと楽しんでいただきました。



まちなみづくりワークショップ

～船場地区のさらなる魅力向上に向けて～

平成21年1月26日(月)
大阪市住まい情報センターにて開催

船場のまちに関わるたくさんの方々と一緒に、「大阪くらしの今昔館」を見学し、副館長の新谷さんより船場のまちの成り立ちなどを伺った後、船場のまちなみづくりのテーマにつながるイメージやキーワードについて話し合いました。今回ご提案する『作法』の「まちなみづくりのテーマ」は、このワークショップでの、みなさんの声をまとめたものです。



話し合った内容を発表するグループリーダー

〇各部会の活動について

昨年8月の協議会発足以降、「近代建築等」、「道修町」、「三休橋筋」の各専門部会では、船場らしいまちなみづくりをめざして、建物所有者や沿道関係者の方々へのアンケートや意見交換等を行いながら、部会ごとのテーマに応じたまちなみづくりの基本的な考え方のとりまとめを進めています。

今回のニュースでは、その成果として、「近代建築等」部会がとりまとめた『船場のまちなみ作法』【建物編】(案)をご紹介します。他の2部会についても、順次とりまとめを進めていく予定です。

船場地区HOPEゾーン事業

「船場のまちなみ作法」(案) 骨子について

【基本編】

まちなみづくりのテーマ

ワークショップやアンケートなどを通じて、多くの方々が船場のまちなみづくりのキーワード・大事にしたい事柄についてご提案くださいました。それらを踏まえながら、船場のまちなみづくりに向け、みんなで共有していきたい「思い」をテーマにまとめました。

船場のまちなみづくりのテーマ

近世、近代の佇まいが光る 花なりしたまちなみづくり ～上質な船場の「いま」を愉しむために～

このテーマには、町割や魅力的な建物などの形ある資源だけでなく、船場の歴史・成り立ち、船場言葉や食文化、老舗の格式、人々の暮らしなど、近世・近代に培われ、受け継がれてきた、船場のまち特有の雰囲気、ありさま、風情といった財産を巧みに光らせ、一味違う、質の高いまちなみづくりを、「花なり」という言葉を意識しながら進めることにより、過去と現在、そして未来が仲良く共存する楽しい「いま」を感じさせるまち・船場を実現していきたいという思いが込められています。

「花なり(はんなり)」とは、落ち着いたはなやかさ、上品でやわらかなはなやかさを表す言葉です。

まちなみづくりの基本方針 ～4つの視点～

「テーマ」の実現に向け、次の4つの視点に立ったまちなみづくりを提案します。これら4つの視点は、今後、みんなで一緒に、建物の修景やまちの特性を活かすルールづくりなどに取り組み、具体的なまちなみづくりを進めいくための基本的な方針となるものです。

1 近代建築等のストックを活かす

船場のまちなみをより重層的で、上質なものとするためには、近代建築をはじめ、人々に愛され、まちなみのアクセントとなる、大切なストック・様々な建物たちを活かすことを考える必要があります。建物を所有する人たちだけでなく、建物に関わる人々、船場のまちに関わる人々がみんなで建物の価値やまちなみに与える効果を十分に理解・共有することが大切です。個々の建物に一層の磨きをかけると同時に、まちなみづくりの核としての活用等に取り組みしましょう。

2 通・筋、エリア(界隈)の個性を活かす

広い船場では、「通」や「筋」沿いにつくられたまちの成り立ちや特性、エリア(界隈)としてのまちなみづくりの動きなどを上手に活かしながら、新しい要素を取り入れ、「いま」の船場にふさわしい個性的なまちなみをつくっていくことが大切です。「通」や「筋」、「エリア(界隈)」ごとに、まちなみの将来像を話し合い、必要なルールをつくりながら、具体的なまちなみづくりを進めましょう。

3 まちの「すきま」を使いこなす

都心・船場の貴重な空間である「すきま」は、まちのゆとりや遊び心を生み出す非常に大事な空間です。「すきま」のデザインや使い方の工夫で、まちなみの一体感や潤いが生まれるとともに、まちに関わるたくさんの人たちの憩いの場、集いの場、にぎわいの場など、まちなみづくりを進めるうえで要(かなめ)となる空間が生み出されることにもつながります。「すきま」を上手に使いこなし、より楽しいまちなみづくりを進めましょう。

4 まちを「愉しむ」

多種多様な人々だけでなく、企業や団体などもまちの一員である船場では、わかりやすい「まちづくり」活動を展開し、一人でも多くの人たちを巻き込んでいく必要があります。協議会は、そうした観点から、「まちなみ」というわかりやすい切り口で、多くの方々と一緒に楽しみながら船場のまちなみづくりを考えていきたいと思っています。みなさんも船場のまちの一員として、まちに関わり、その魅力を知り、守り、伝え、「いま」の船場、未来の船場を一緒につくっていきましょう。

【建物編】

修景のポイント

修景(しゅうけい)とは、まちなみを意識して、建物の外観やまちなみに関わる要素をつくっていくことです。船場のまちなみづくりにおいて欠くことのできない、魅力的な建物たちを再生・活用するときのヒントを「修景のポイント」として、まもる・整える・活かす、という3つの視点で提案します。

視点	<p>まもる (維持・修復・保全)</p> <p>◆「フォルム」をまもる 近代建築等の独特な外観フォルムは、時代時代の特徴や設計者の個性を現すとともに、画一的になりがちなまちなみのアクセントとなり、まちを魅力づける重要な要素でもあります。機能更新や改修等にあわせて、「いま」の要素を取り入れていく場合も、建物の全体的な外観イメージが損なわれないよう、元のフォルムを意識しましょう。</p> <p>◆「最も大事なところ」をまもる 他には見られない貴重な意匠や歴史的・文化的価値の高い部分、一番好きなところなど、建物デザイン上、最も大事なものをきちんと理解し、伝えていきましょう。</p> <p>◆「輝き」をまもる 上手に時を重ねた建物の佇まいは、味わい深く、非常に魅力的なものです。素材の質感や色合い、全体イメージを大事にし、「いま」のまちなみの中で輝くよう磨きをかけましょう。</p>	ポイント
	<p>整える (阻害要因改善)</p> <p>◆「表情」を整える 時代に応じた使い方への対応や建物維持のため、やむを得ず、様々な要素を足したり、引いたりした結果、建物の表情が少し、ごちゃごちゃしてしまっていることがあります。一度、じっくりと建物と向き合い、思い切った余計なものはとる、それが無理なら隠してみるなどして、建物の表情を整えてみましょう。</p>	
	<p>活かす (活用・演出)</p> <p>◆「いま」に活かす 当時の佇まいを活かしながらも、船場の「いま」にあった楽しさを演出し、活用することも大切です。夜間のライトアップや道路に面する開口部の工夫、1階部分の店舗利用など、通や筋、エリア(界隈)の特性に合わせて、船場を愉しめる工夫をしましょう。</p> <p>◆「まちなみの中」で活かす 一つでも多くの建物が輝き続けるよう、建物の維持保全や機能更新・再生活用についてのノウハウ・情報をできるだけ、提供・共有しましょう。近代建築等を核として、通や筋、エリア(界隈)ごとのまちなみづくりを考える、周辺で新しく建物を建てる際には見え方や関わりに配慮するなど、まちなみの中で活かす、より輝かせる工夫をしましょう。</p>	

具体的なまちなみづくりに向けて

——協議会の取組み、支援について

「修景のポイント」を具体的な建物整備の中で実現していただくための協議会の取組みを提案します。

<p>1 相談システム</p> <p>建物の修景等に関して、専門家のアドバイスを受ける機会(専門家相談会)や具体的な修景事例からのノウハウ等を無料で提供します。</p>	<p>2 推薦システム</p> <p>まちなみ資源としての位置づけが一般的にはっきりしている近代建築や文化財等以外のものであっても、修景補助制度が活用できるよう、協議会内に専門家等を含む会議を設け、「船場のまちなみづくりの資源といえる建物か(外観意匠、歴史、立地条件等)」、「具体的な整備内容(修景計画)が船場のまちなみづくりに貢献しているか」といった視点で話し合い、大阪市内に推薦するシステムをつくります。</p>	<p>3 PR活動、各種イベント、ワークショップ等の開催など</p> <p>協議会ニュース等により、『船場のまちなみ作法』の周知・広報に努めるとともに、船場の魅力的な建物たちや修景事例の紹介・PRなどを行い、広く内外に船場の魅力を発信していきます。また、より効果的な修景整備が行われるよう、市とも連携しながら、建物オーナーのみなさんとの情報交換を進めます。さらに、より多くの方々に参加・協力していただけるよう、各種イベントやワークショップなどを開催し、まちなみづくり活動を推進していきます。</p>
---	---	--

HOPEゾーン
ええもん発見!! 船場 vol.2

ええもん発見!! 2



今橋三丁目 除痘館記念資料室

じょうとうかきねんしりょうしつ 今橋3-2-17 緒方ビル4階



提供：株式会社 手塚プロダクション

適塾の一筋南、緒方クリニックビル入口にある「除痘館跡」のブロンズのレリーフ。ここでは、幕末に適塾を開いた緒方洪庵らが、天然痘（痘瘡）のわざわいから人々を救うため、ジェンナー発見の牛痘種痘法を駆使して病魔と闘った拠点、除痘館の跡。そのゆかりで、ビルの4階に開かれた「除痘館記念資料室」には、洪庵らの当時の活動を示す関係資料が展示・公開されています。ビルの谷間にたたずむ資料室で、歴史と文化の織りなすドラマにひたるのも一興。見学は自由です！

船場地区HOPEゾーン協議会

平成20年8月6日設立

大阪市の「HOPEゾーン事業」を活用し、行政と連携・協働で、近代建築などの船場地区の歴史的・文化的な資産を活かした、より魅力的なまちなみづくりを進めることを目的とし、『近代建築や伝統的な町家、船場建築線による後退部分などを活かしたまちなみづくり』、『通や筋・エリアごとの特性を活かしたまちなみづくり』を大きなテーマに、船場に関わるたくさんの方々とともに、まちなみづくりに関するワークショップやイベントの企画・開催、専門部会による個別のテーマに応じたまちなみづくりに向けた検討・調査など、具体的な活動を展開しています。

役員一覧

会長	大橋 達夫	集英連合振興町会 会長
副会長	木下 修二	愛日連合振興町会 会長
	橋本 英男	船場連合振興町会 会長
事務局長	別所 俊顕	少彦名神社 宮司、道修町資料保存会理事
会計	村橋 紗知	伏見ビル、ギャラリーもす
理事	桶谷 重雄	堺筋アメニティ・ソサエティ事務局
	小西 哲夫	コニシ(株) 取締役
	澤田 充	北船場くらぶ事務局
	宿谷 良一	(株)ヤラカス館 専務取締役
	日比 哲夫	せんばGENKIの会 副代表世話人
	藤原 久恵	汎愛連合振興町会 総務部長
	守田 宣昭	三休橋筋商業協同組合
	吉岡 亨	大阪ガス(株) 近畿圏部長

会員募集中

「船場」ならではの魅力を活かしたまちなみづくりをめざして、一緒に活動しませんか？

船場地区HOPEゾーン協議会では、具体的なまちなみづくり活動を進めていく上で、参加・協力・支援いただける仲間を募集しています。船場のまちなみづくり・まちづくりに興味がある！という方、ぜひ、ご登録ください。

登録無料

※詳細につきましては、お近くの役員または semba-sugi@dan-dan.comまでお問合せください。

船場地区HOPEゾーン事業

第2回総会 開催のご案内

日時：平成21年5月20日(水)
午後7時～(開場・受付開始は30分前から)

場所：大阪市中央公会堂 地階 展示室
(北区中之島1-1-27)

参加無料
どなたでもご参加いただけます

主な内容(予定)

- 平成20年度活動報告
- 『船場のまちなみ作法』(案)について
- 平成21年度活動予定について など

HOPEゾーン事業 [ほーぷぞんじぎょう]

大阪の居住地イメージ・魅力を高める歴史的・文化的な雰囲気にも恵まれた地域において、地域で活躍する様々なメンバーから成る「協議会」を中心に、地域と行政が連携・協働してまちなみづくりに関わる活動を展開しながら、地域特性を活かした建物やオープンスペースの修景整備等、具体的なまちなみづくりに取り組んでいく事業。

- HOPEゾーン事業についてのお問い合わせ
大阪市都市整備局
まちづくり事業企画担当
Tel.06-6208-9222



船場地区HOPEゾーン事業対象エリア

[約126ha]

